

<p>団体名</p>	<p>鎌倉の海を守る会</p>	<p>会員数</p>	<p>役員 13 名 (会員システムをとっていないため)</p>	<p>代表者</p>	<p>河合涼太</p>
<p>活動目的</p>	<p>本会は鎌倉の海浜とその周辺の自然環境及び景観を保全し、できるだけ人工の手を加えず後世に伝えることを目的としています。</p>				
<p>【活動の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 鎌海の取り組みを「Facebook」にて活動を紹介 2. かまうみ通信 <p style="margin-left: 20px;">海岸地形と海浜植物および岩着生物などの海浜と周辺環境の写真撮影し「海岸レポート」を多数発行して、史跡指定、海域、稲村エコトーン、過酷な現場、丸階段の場所、鉄色の壁穴ならびに放置土嚢袋などを紹介して、多くの市民などと情報を共有する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「稲村が崎の地盤崩壊が加速している〜!養浜はここからじゃない?」 (2) ここは海域だ〜! (3) サンドリサイクル坂の下編「そこじゃマジで保たない」って話し! (4) サンドリサイクル 材木座編「和賀江島の史跡指定が養浜の妨げになる」って話し! (5) 丸階段復旧場所をよ〜く考えて選ぼうよ! 3. 鎌倉市海岸問題・養浜事業進捗と経過報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 下水道本管の経路について (2) 由比ガ浜整地について (3) 飛び砂対策?、緑化事業? 4. 侵食と堆砂の状況調査 <p style="margin-left: 20px;">坂の下の漁港問題と神奈川県養浜事業との関係で鎌倉市農水課と折衝 (継続)</p> 5. 第藤沢土木事務所なぎさ港湾課とサンドリサイクルのテーマで、材木座〜坂の下海岸を視察 5/11 6. 3回鎌倉市海水浴場対策協議会に参加 5/26 <p style="margin-left: 20px;">・鎌倉市海水浴場を再開するというので、神奈川県養浜事業が先行している。サンドリサイクル事業の経過観察をしているところであり整地について提言。</p> 7. 第17回表浜NW総会&オンライン公開シンポジウム 参加 6/26 8. 第1回 鎌倉海岸七里ガ浜地区侵食対策協議会 参加 7/28 9. 相模湾沿岸海岸侵食対策計画 (鎌倉海岸七里ガ浜地区) に係る意見交換会参加 12/16 10. 校外学習(総合的な学習、卒業研究)対応:玉川大学生(1名)、横浜国立大学附属鎌倉中学校生(4名)添付の写真参照 11. ビーチクリーンアップ:会の活動で最も長いものの一つ。1997年以来、新型コロナウイルス感染症拡大のため活動形態を変更して実験的に実施。 					

海岸清掃活動をSNSにて告知。当日海岸にゴミ袋を置き海浜利用者各自のボランティアに任せるところ、多くの参加者とゴミ集積の成果がありました。

12. 浜の植物を楽しむ会：新型コロナ感染症拡大のため活動休止中
13. 第二回砂浜シンポジウム開催を企画 12月予定（新型コロナ感染症により見送り）

【活動の成果】

鎌倉市の海岸の状況を市民の方々に認識してもらい、今後の海岸をどのように保全していくかについて考える機会を提供することで、私たちの問題として少しでも普及できたと思います。更に海岸を管轄する行政機関との情報共有も活発に行うことができ、神奈川県侵食対策協議会・七里ガ浜地区に委員参加しています。

市民への普及活動としては、地元の中学生に海岸で起こっている現状(ゴミ、マイクロプラスチックなど)について詳しく説明し、海の豊かさやきれいな海を未来へ引き継いでいくことについて学習させることができます。



海ごみ学習

横浜大附属中 生徒3名 2022年11月8日



稲村ヶ崎海岸

海岸の砂がなくなって、消波ブロック投入
音無川橋から撮影 2022年8月14日